

第25回 ユニバーシアード競技大会(2009/ベオグラード) 【マッチレポート】

日時 : 2009年7月6日(月) 17:30(日本時間-24:30) Kick Off

Stadium FC "Indjija"
場所 : スタジアムFCインジャ

■試合結果■

ユニバーシアードセルビア代表 **0** (**0** - **0**) **0** ユニバーシアード日本代表

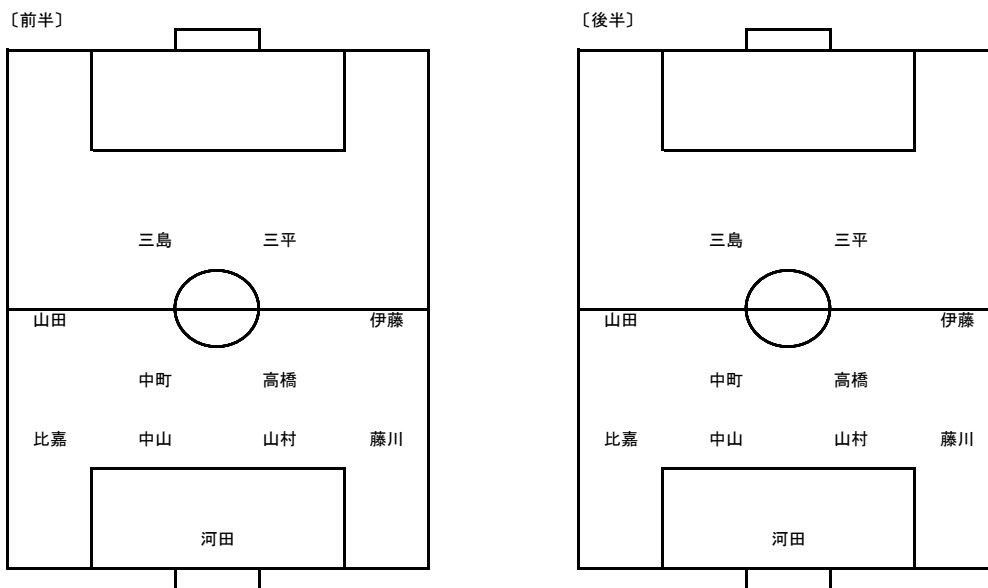
 

延長
PK 3

■得点■

[時間] [チーム] [得点者] [アシスト]

■布陣■



■交代■

[時間]	[OUT]	[IN]	[時間]	[OUT]	[IN]
'55	伊藤 大介	→	永井 謙佑		
'75	中町 公祐	→	千明 聖典		
'80	三島 康平	→	中川 裕平		

■戦評■

ユニバーシアードの第4戦目、準々決勝は大観衆の中、地元セルビアとの間で行われた。セルビアは予選最終戦の時とメンバーを5人も代える先発メンバーであった。キックオフは日本、笛の合図とともに集中して試合に臨むよう心掛けた。開始6分、セルビアDFが早々に交代した。10分日本のCK、11分にはセルビアのCK、12分再び日本のCKと目まぐるしくゴール前の攻防が続いた。それでも、少しづつチャンスが増えた日本は、25分にペナルティーエリア付近絶好の場所でのFKをGKにキャッチされ、28分には右サイドからのFKを三島がヘディングで合わずポストに阻まれ、いずれのFKからも得点することが出来なかった。

その後は、両チームともに一進一退の試合展開のまま決定機を作れず前半終了。後半開始49分、CKのチャンスを得たが得点に結びつかなかった。55分には早くも伊藤→永井と交代し得点を奪いたいところではあったが、パスの精度、コンビネーションが合わず永井にボールを集めることが出来なかった。61分にはハーフライン付近で得たFKをDF陣の連係ミスからボールを奪われ、数적不利の絶体絶命のピンチを招いてしまったが、セルビア選手のシュートが大きく枠を外れ、事なきを得た。その後は、疲れの出たセルビアに対して75分、中町→千明、80分には三島→中川に代え早いパスワークから流れを変えたいところであったが、全体的にコンビネーションが上手くとれずボールの失い方も悪く、リズムを掴めないまま0-0で後半終了。大会規定により延長は行われずPK合戦に突入。

先行は日本、1番手、三平、三番手、千明の蹴ったボールは枠をとらえてはいたが、GKのファインセーブに阻まれてしまった。しかし、日本のGK河田がセルビアの1番手、2番手、そして最後のキッカーのシュートをファインセーブし準決勝進出を決めた。GK河田の活躍により次に駒を進めることは出来たが、準決勝に向けては課題の残る結果となった。残り2試合、心も体もリフレッシュして万全な態勢で試合に臨むことを期待したい。

(文責:ユニバーシアード日本代表GKコーチ 足立 高浩)